

## 第2章 群馬県の状況

### 1 肝炎と肝がん

群馬県内の肝炎患者数は約4,000人と推定されており（表1）、肝及び肝内胆管がんの罹患率は人口10万対30.8と推定されています（表2）。

一方、平成28年の肝及び肝内胆管がんの死亡率は人口10万対22.7と全国の22.8とほぼ同じで（表3）、群馬県では毎年400～500人が肝がんで死亡しています。

未だ肝がんによる死亡者が多くいることから、肝炎を早期発見、早期治療して、肝がんの予防につなげていくことが重要です。

表1 肝炎患者数（推計）

	群馬県	全国
肝炎患者	4,000人	184,000人

資料：平成26年患者調査より推計（政府統計の総合窓口 e-Stat）

表2 肝及び肝内胆管がん粗罹患率（人口10万対）

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
群馬県	33.5	38.4	34.4	33.3	30.8
全国	37.6	36.9	34.3	34.3	32.2

資料：国立がん研究センターがん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計」

表3 肝及び肝内胆管がんによる粗死亡率（人口10万対）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
群馬県 （順位）	22.9 (31)	24.1 (25)	22.1 (30)	21.4 (33)	22.7 (28)
全国	24.4	24.0	23.6	23.1	22.8

資料：人口動態調査

## 2 肝炎ウイルス検査

### (1) これまでの取組

県では、肝炎の発生の予防・まん延防止を目的に、平成14年度から特定感染症検査等事業の一環として、保健福祉事務所（保健所）において無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。また、肝炎ウイルスに関する相談も受け付けています。

市町村では、平成14年度から老人保健事業、平成20年度からは健康増進事業として当該市町村に居住し、当該年度において満40歳の者と、満41歳以上で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない者を対象として肝炎ウイルス検査を実施しています。

### (2) 課題

肝炎は適切な治療を行わないと慢性化し、肝硬変や肝がんといった、より重篤な病態に進行するおそれがあるため、全ての県民が少なくとも1回は肝炎ウイルス検査を受検するよう、さらなる普及啓発とともに、受検しやすい体制を整備することが重要です。

表4a B型肝炎ウイルス検査受検者数

事業名 (実施主体)	特定感染症 検査事業 (県・中核市保 健所)	陽性 者数	陽性率	健康増進事業 (市町村)	陽性 者数	陽性率
平成24年度	801	2	0.25%	13,304	74	0.56%
平成25年度	1,056	2	0.19%	14,717	61	0.41%
平成26年度	1,045	3	0.29%	17,450	85	0.49%
平成27年度	793	2	0.25%	17,913	79	0.44%
平成28年度	864	5	0.58%	14,641	59	0.40%

表4b C型肝炎ウイルス検査受検者数

事業名 (実施主体)	特定感染症 検査事業 (県・中核市保 健所)	陽性 者数	陽性率	健康増進事業 (市町村)	陽性 者数	陽性率
平成24年度	750	8	1.07%	13,281	75	0.56%
平成25年度	920	2	0.22%	14,693	93	0.63%
平成26年度	918	5	0.54%	17,436	109	0.63%
平成27年度	789	2	0.25%	17,898	97	0.54%
平成28年度	863	2	0.23%	14,651	81	0.55%

### 3 肝炎医療の提供体制

#### (1) これまでの取組

平成 20 年 4 月に群馬大学医学部附属病院を肝疾患診療連携拠点病院に指定し（表 5）、18 の医療機関を肝疾患専門医療機関に指定して（平成 30 年 2 月 1 日現在、34 の医療機関を指定・表 6）、拠点病院、専門医療機関と地域のかかりつけ医との連携体制を構築してきました（図 1）。

#### (2) 課題

肝炎ウイルス検査を受検し陽性となった者が、医療機関を受診しなかったり、受診しても治療を継続しなかったりするなど、適切な医療を受けていない実態が報告されています。肝炎ウイルス検査で発見された陽性者を確実に適切な治療につなげることが重要です。

表 5 群馬県肝疾患診療連携拠点病院 (平成 29 年 4 月 1 日現在)

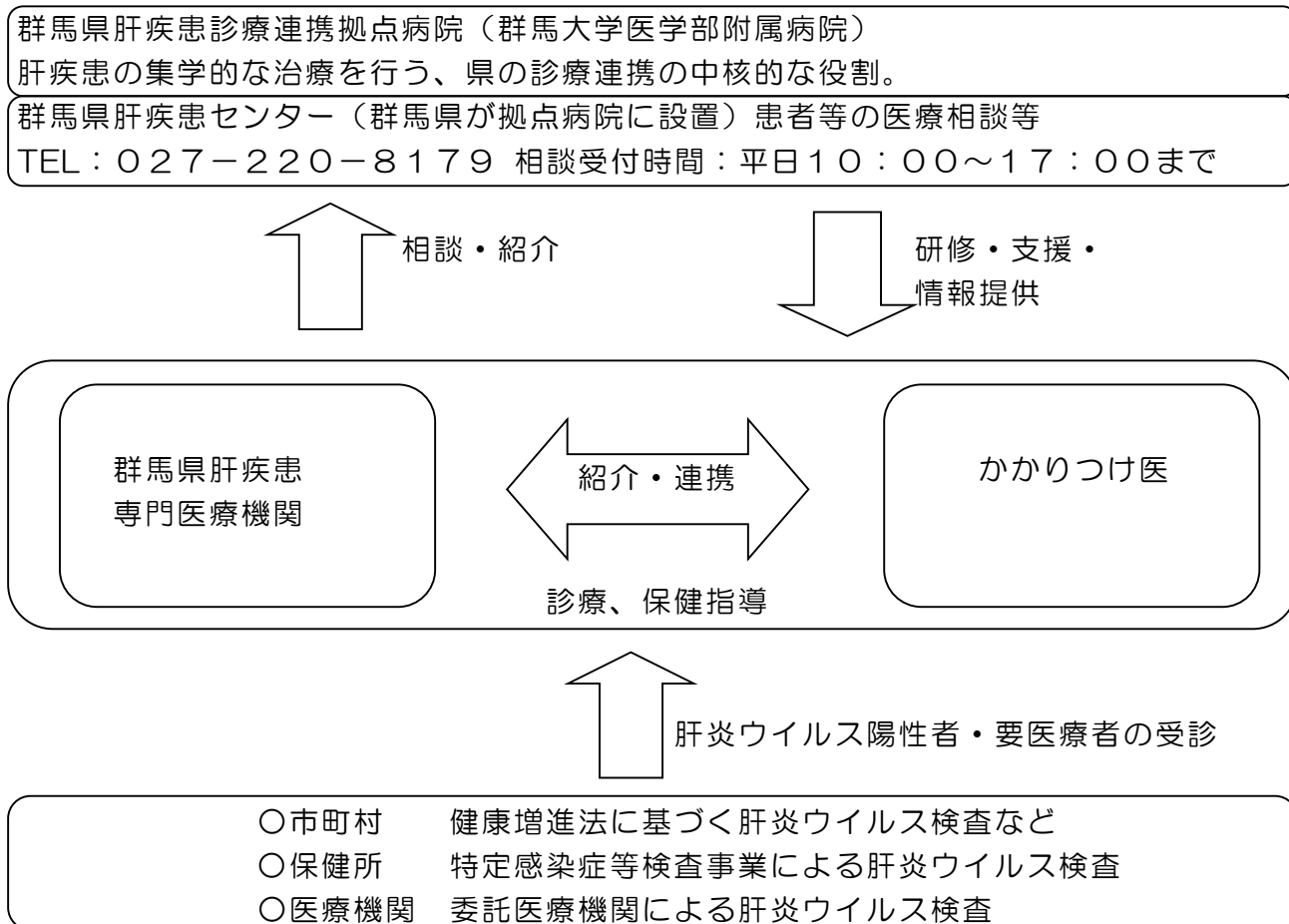
医療機関名	所在地	電話番号
群馬大学医学部附属病院 (群馬県肝疾患センター)	前橋市昭和町 3-39-15	027-220-7111 027-220-8179

表 6 群馬県肝疾患専門医療機関 (平成 30 年 2 月 1 日現在)

医療機関名	所在地	電話番号
前橋赤十字病院	前橋市朝日町 3-21-36	027-224-4585
JCHO 群馬中央病院	前橋市紅雲町 1-7-13	027-221-8165
群馬県済生会前橋病院	前橋市上新田 564-1	027-252-6011
下田内科医院	前橋市南町 3-64-13	027-221-3155
もてぎ内科医院	前橋市上増田町 510	027-266-5671
はしづめ診療所	前橋市公田町 515-1	027-226-1806
山王医院	前橋市山王町 2-20-16	027-266-5410
高崎総合医療センター	高崎市高松町 36	027-322-5901
黒沢病院附属ヘルスパーククリニック	高崎市矢中町 188	027-352-1111
大久保医院	高崎市新町 2846	0274-42-0100
小林外科胃腸科医院	高崎市上中居町 186-3	027-325-2085
三愛クリニック	高崎市金古町 1758	027-373-3111
桐生厚生総合病院	桐生市織姫町 6-3	0277-44-7171
小島内科医院	桐生市新宿 3-1-12	0277-44-8919
伊勢崎市民病院	伊勢崎市連取本町 12-1	0270-25-5022
山田内科クリニック	伊勢崎市大手町 24-8	0270-23-6666
太田記念病院	太田市大島町 455-1	0276-55-2200
利根中央病院	沼田市沼須町 910-1	0278-22-4321
館林厚生病院	館林市成島町 262-1	0276-72-3140
さくま内科胃腸科クリニック	館林市花山町 2576-4	0276-55-2500
はまだクリニック	館林市赤土町 119-2	0276-80-1100

渋川医療センター	渋川市白井 383	0279-23-1010
湯浅内科クリニック	渋川市渋川 1824-21	0279-20-1311
齋藤内科外科クリニック	渋川市金井 932-4	0279-22-1678
公立藤岡総合病院	藤岡市中栗須 813-1	0274-22-3311
くすの木病院	藤岡市藤岡 607-22	0274-24-3111
やまうち内科	藤岡市藤岡 424-7	0274-24-5792
公立富岡総合病院	富岡市富岡 2073-1	0274-63-2111
公立七日市病院	富岡市七日市 643	0274-62-5100
くろさわ医院	安中市松井田町松井田 903-1	027-393-5311
東邦病院	みどり市笠懸町阿左美 1155	0277-76-6311
松井内科医院	みどり市笠懸町鹿 3322-1	0277-70-7610
原町赤十字病院	吾妻郡東吾妻町原町 698	0279-68-2711
新井内科クリニック	邑楽郡大泉町仙石 4-40-9	0276-20-1220

図1 群馬県の肝炎医療体制



#### 4 肝炎治療費等助成事業

##### (1) これまでの取組

県では、平成 20 年度から C 型肝炎のインターフェロン治療に係る肝炎治療費等助成事業を開始しました。肝炎治療費等助成審査委員会を設置して肝炎患者等からの申請を審査し、医療費の給付を行っています。平成 22 年度からは B 型肝炎の核酸アナログ製剤治療も助成の対象とし、平成 26 年度から C 型肝炎のインターフェロンフリー治療も対象としました（表 7）。肝炎患者等の治療しやすい環境を整えることにより、将来の肝硬変、肝がんの予防を図っています。

##### (2) 課題

B 型肝炎患者の本制度の利用数がまだ少ない状況です。リーフレットの作製・配布、講演会の開催やホームページを活用し、肝炎治療費等助成事業を引き続き県民に広く周知する必要があります。

表 7 肝炎治療費等助成事業認定件数

年度	インターフェロン治療（人）	インターフェロンフリー治療（人）	核酸アナログ製剤治療（人）
平成 24 年度	330		347
平成 25 年度	362		349
平成 26 年度	265	371	431
平成 27 年度	15	1,735	419
平成 28 年度	1	1,088	489

#### 5 重症化予防事業

##### (1) これまでの取組

肝炎ウイルス陽性者や慢性肝炎、肝硬変及び肝がん患者に対して検査費用を補助することで、経済的負担を軽減し、定期的な医療機関での経過観察により重症化を予防することができます。平成 26 年度から定期検査費用助成事業及び肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業を、平成 27 年度から初回精密検査費用助成事業を実施してきました（表 8）。

##### (2) 課題

肝炎患者の重症化予防のため、治療の継続や定期的な検査による経過観察を推進することが必要です。

表 8 初回精密検査、定期検査費用助成事業実績

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
定期検査費用助成	1 件	7 件	17 件
初回精密検査費用助成	—	17 件	29 件

## 6 肝疾患センター

### (1) これまでの取組

肝疾患センターは、県が群馬大学医学部附属病院に設置した機関で、県内の肝疾患診療の質の向上及び肝炎患者等の支援を図るため、医療機関や肝炎患者等の相談に対応するとともに、医療従事者等に対する研修や県民に対して肝炎に関する正しい知識を普及啓発する活動を実施してきました（表9a、9b）。

### (2) 課題

肝炎患者、キャリア等に対する相談支援や県民に対する肝炎に係る正しい知識の普及啓発を推進するため、さらに肝疾患センターを周知する必要があります。

表9a 相談件数

平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
134件	53件	73件	82件	75件	74件

表9b 医療者向け研修会実施件数

平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
7件	13件	17件	15件	16件	13件

## 7 ウイルス性肝炎診療研修会

### (1) これまでの取組

インターフェロンフリー治療を行うにあたり、公費負担申請に係る診断書を作成する医師に対して、適正な治療法及び治療費等助成事業について周知することを目的として開催しています（表10）。群馬県肝炎治療講習会認定要領に基づき、認定講習会として関係機関と共催で行っています。

### (2) 課題

肝炎治療を担当する医師に最新の治療法を周知するため、定期的な認定講習会の受講を働きかける必要があります。

表10 ウイルス性肝炎診療研修会実績

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開催回数	2回	2回	3回
受講者数	253人	121人	192人

## 8 肝炎医療コーディネーター養成

### (1) これまでの取組

肝炎医療コーディネーターの役割は、肝炎患者等が適切な肝炎医療を受けられるように、肝炎ウイルス検査の勧奨や検査結果が陽性となった者等への受診勧奨、受診後のフォローアップ等の支援を行うことなどです。

県では平成 23 年度から市町村の保健師、地域医療機関の看護師、職域の健康管理担当者等を対象として、養成研修会を開始しました（表 11）。

平成 29 年度から新たな実施要綱のもと、地域における普及啓発、患者家族への情報提供などを含め活動を活発化させています。

### (2) 課題

肝炎患者、キャリア等がコーディネーターの支援を受けやすい環境の整備、新たな実施要綱に基づく活動が有効に実施できる体制を整備する必要があります。

表 11 養成研修会の開催実績

年度	回数	受講者数	累積養成者数
平成 23 年度	2 回	62 人	62 人
平成 24 年度	2 回	120 人	171 人
平成 25 年度	1 回	89 人	248 人
平成 26 年度	2 回	76 人	310 人
平成 27 年度	2 回	113 人	404 人
平成 28 年度	2 回	130 人	463 人